

財政健全化のみならず中長期的な成長も狙うインド予算案！ 先進国入りを目指す入念な道筋も

パワフル・インド（政策関連） ～2024年度の本予算案発表～

▶ 中長期的な経済発展にポジティブな予算案

6月発足の第3次モディ政権は、7月に2024年度（2024年4月～2025年3月）の本予算案を公表しました。予算案は例年2月発表ですが、今年は下院総選挙が4～6月に行われたため、2月発表分は暫定版となり、暫定予算を修正する形で新政権が今回本予算案を発表しました。

今回の発表内容では、先日の総選挙でモディ首相が率いるインド人民党が単独過半数の議席を失ったことで、与党連合への配慮による歳出増から財政健全化路線を危ぶむ声もありましたが、本予算案では、財政赤字削減を図りつつ成長と改革を推し進める方向性が確認されました。

また、独立後100周年を迎える2047年までの先進国入りを目指す「Viksit Bharat（先進国インド）」に向けては本予算案にて9つの重点分野も設定されています。

2024年度予算案（単位：兆印ルピー）

	暫定予算案	本予算案
歳入	47.7	48.2
税金等	30.0	31.3
公債金等	17.6	17.0
歳出	47.7	48.2
経常支出	36.5	37.1
資本支出	11.1	11.1
財政赤字	▲16.9	▲16.1
（対GDP）	▲5.1%	▲4.9%

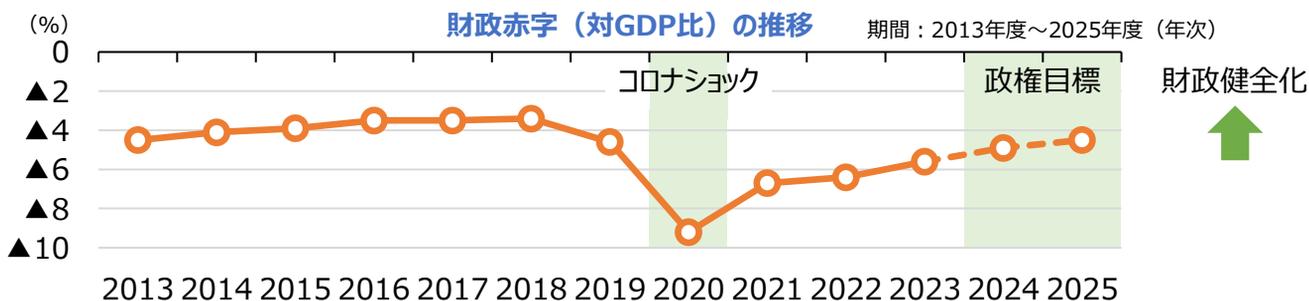
先進国入りを目指した9大重点分野

1	農業の生産性・強靱性
2	雇用とスキル習得
3	包括的な人材育成と社会的正義
4	製造業とサービス業
5	都市開発
6	エネルギー安全保障
7	インフラ
8	イノベーション・研究開発
9	次世代改革

本予算案での歳出は暫定版からやや増加（48.2兆印ルピー）、インフラ整備などの資本支出は暫定版と変わらず（11.1兆印ルピー）となりました。そして今回の選挙結果なども考慮し、失業に苦しむ若者や貧困層の生活改善、また人口の約6割を占める農村の発展を通じて経済の底上げを狙うため、雇用創出などに関して今後5年で2兆印ルピー、農村部への成長戦略として2.7兆印ルピーを充てました。

財政赤字の対GDP比は暫定版（▲5.1%）から▲4.9%へ引き下げました。更に2025年度には▲4.5%を目標に掲げるなど、財政健全化を進めたい政権の意向がうかがえます。

財政健全化への取り組みや中長期的な成長を見据えた今回のバランスの取れた予算案により、良好なマクロ環境の継続が期待されます。



出所：各種資料を基にパインブリッジ・インベストメンツ作成。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会